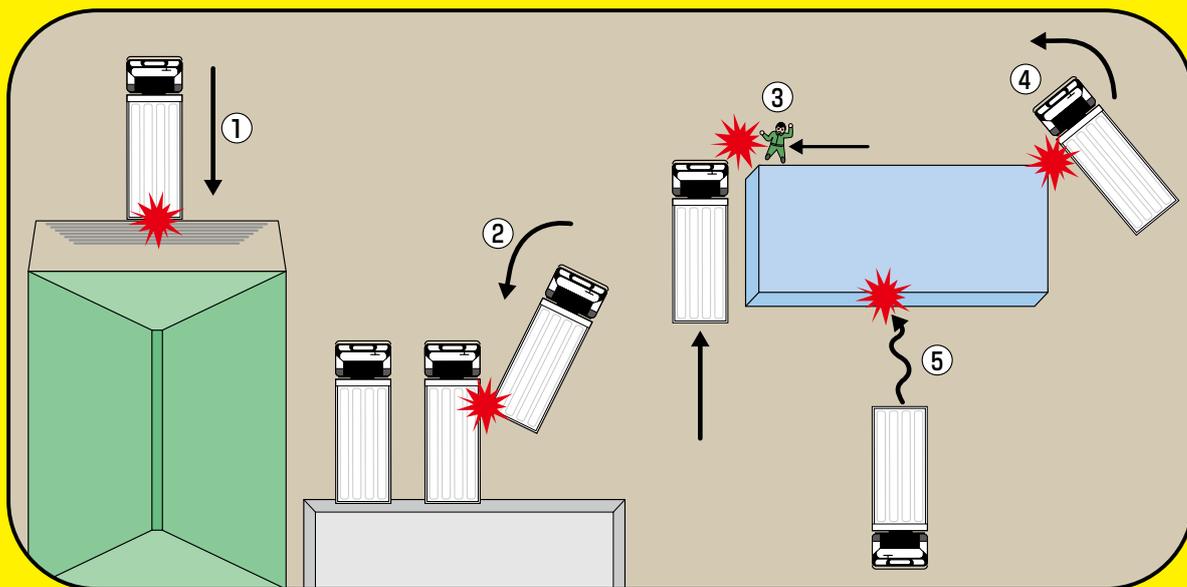


うっかり? 見落とし? 構内事故多発

～ 四交協の受付事故で、約40%強が構内事故! ～



どのような事故か…

- ① 倉庫内に入る時、シャッターが十分に上がっていなかった為、シャッターに接触
 - ② ホーム付けする時に、隣のトラックに衝突
 - ③ 建物の影から出てきた歩行者に接触
 - ④ トラックの内輪差で建物に接触
 - ⑤ パーキングブレーキの利きが甘く、ユルユルと後退し、建物に逆突
- 上記事故は、一例にすぎません。後部観音扉が風にあおられ急に開いて隣のトラックに接触したり、ウイングを上げたまま走行し、倉庫の天井に接触したり、トラックとホームの間に作業員を挟んでしまったり…様々な状況で事故が発生しています。

原因は……

構内事故での主原因は、『確認不足』が考えられます。路上と違い「危険意識の低下」から安心感が生まれ、確認不足へとつながって行きます。

この事故を防ぐためには…

- ① 構内では徐行が原則です。そして十分に周辺確認を行ってください。建物や荷物の平置き、駐車車両が多く見通しが非常に悪い事が多くあります。ホーム付の際は、一度停止して危険が潜んでいないかの確認、ラジオやオーディオを消し、ミラーや目視で十分確認した上で発進してください。
- ② ウイングや後部観音扉を開けたままでの走行は大変危険です。ロック機能や留め具を必ずかけてください。
- ③ オーバーハングや内輪差のイメージを常に持ち、ゆっくりとトラックを操作してください。一度でホーム付けを行うのではなく、危険を感じれば何度でも切り返す意識も大切です。
- ④ 車幅や車長、オーバーハング、内輪差に加え建物内に進入する場合には、入口の状況を十分に把握し、車高に注意してください。
- ⑤ 駐車時にはパーキングブレーキをしっかりかけてください。

《事故防止上の注意点》

- 自分の運転技能を過信しない。
- 構内は狭い範囲に危険が集まった「危険の百貨店」と認識。
- 路上と比べると安心感が生まれ、注意への意識不足が生じる。路上・構内関係なく「見るべきものを視て」、「確認すべきものを確認」する。



事故事例ニュース

第284号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

「見るべきものを視て」、「確認すべきものを確認」
事故現場 構内事故が 第二位